

金融仲介機能の強化を通じた地域経済イノベーション

2021年1月26日

株式会社経営共創基盤 IGPIグループ会長
株式会社日本共創プラットフォーム(JPiX) 代表取締役社長
富山和彦



グローバル化
(市場経済圏の全世界化)

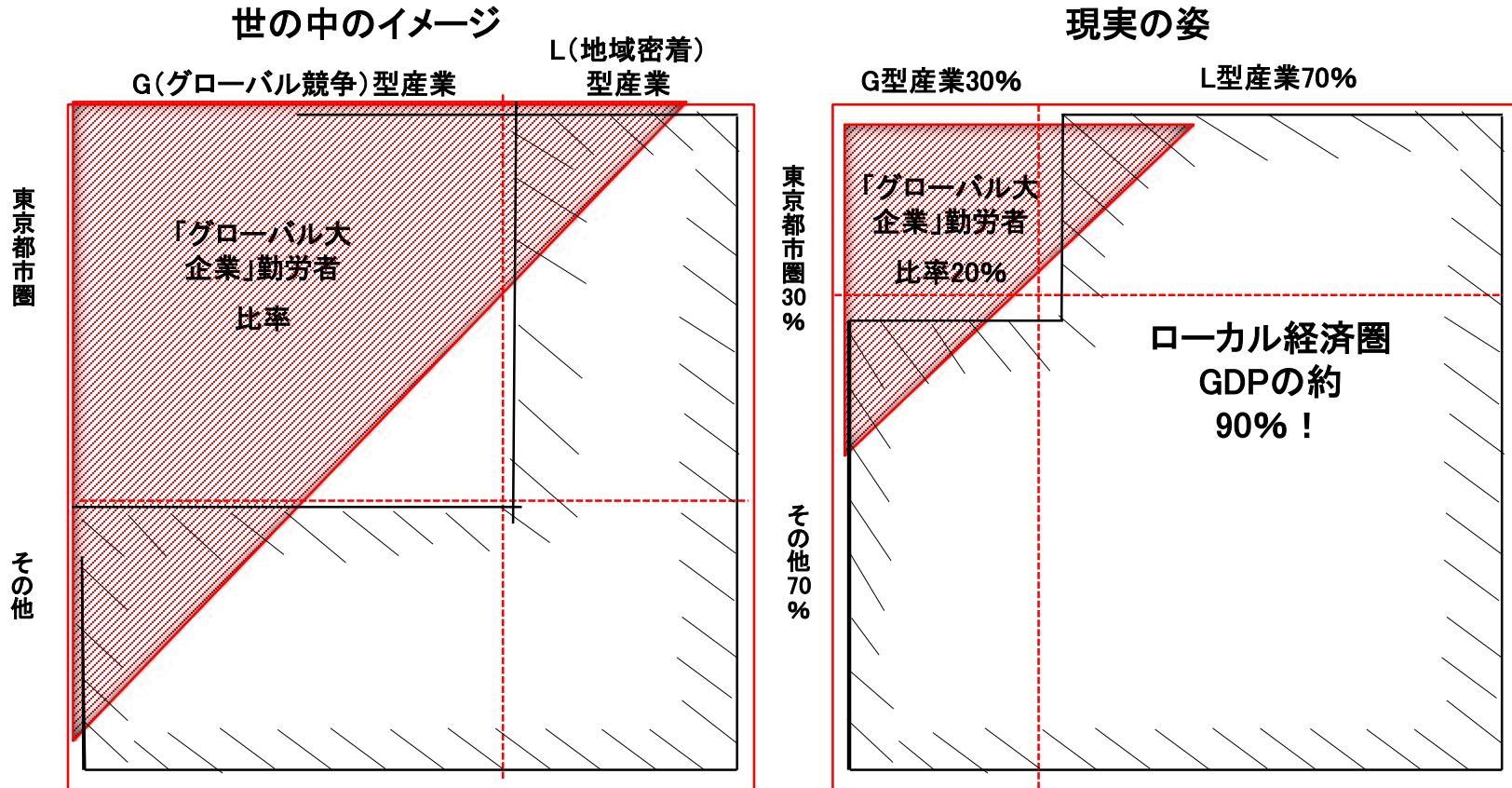
×

デジタル革命の進展

||

破壊的イノベーションの波の拡大

DX拡張加速する中のビジネスチャンスのある：Gの巻き返しとLの生産性向上に向けて



- ローカル経済圏、中堅・中小企業経済圏こそが日本経済の主流！
 - ー GDPの7割、雇用の8割、そしてその比率は上昇を続ける

- 労働生産性が低さこそが成長の機会！
 - ー 100M走10秒の選手を8秒にするのはほぼ不可能だが・・・

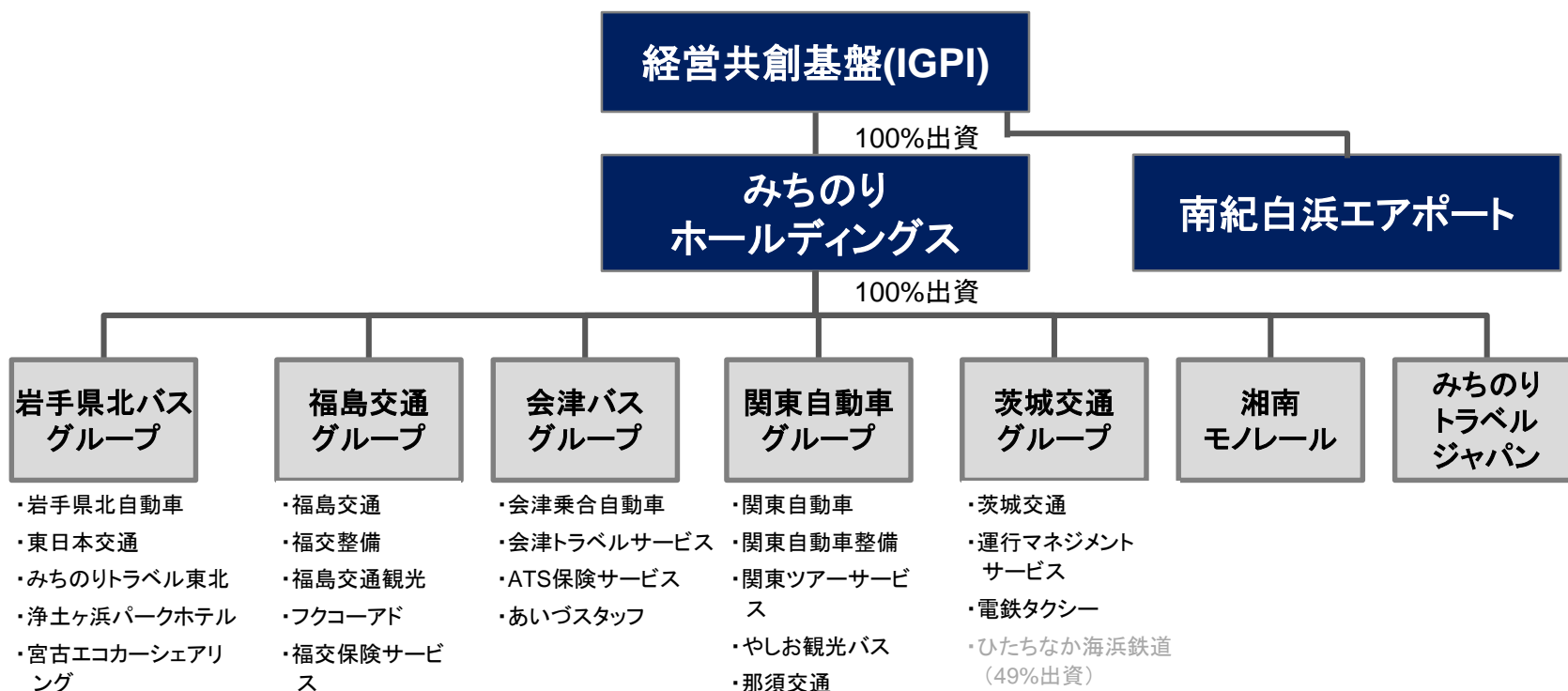
- GからLへ流れは変わる、ローカルCXDXを起動せよ
 - ー 「エッセンシャルワーカー」こそがこれからのコア中間層を形成すべき
 - ー G型産業の勝ち組は大量の中産階級雇用を生み出せない時代

- Lの世界の両利き経営、CX経営とは

IGPIグループ全体像



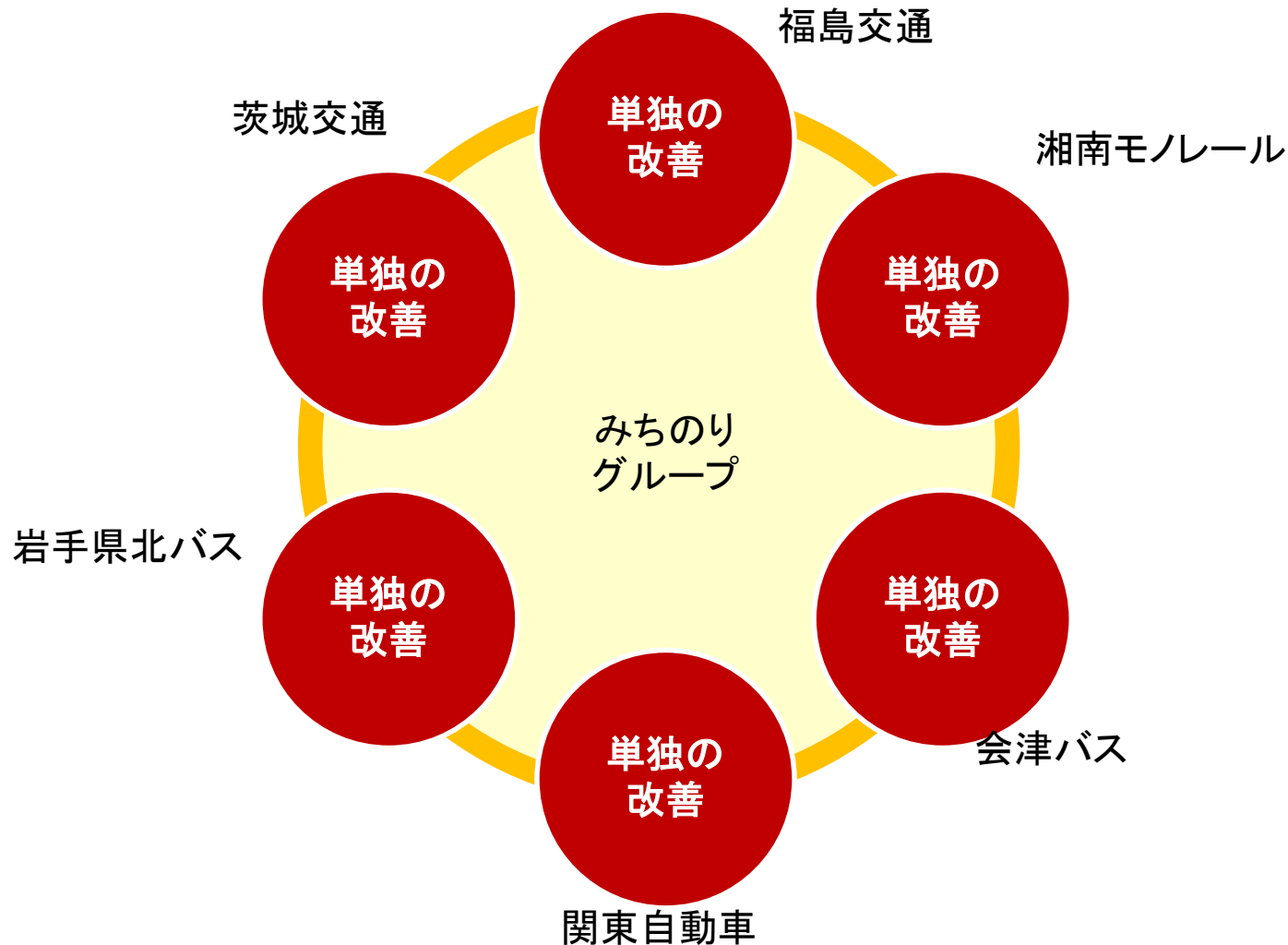
- ◆ 公共サービス事業の再生に端を発した戦略投資について、事業運営能力を大きく改善させ、当該業界の代表的な存在に成長させた実績を有します



	計					
従業員	866人	897人	464人	1,113人	1,414人	124人
車両 (バス)	413台	551台	196台	617台	640台	
車両 (その他)	1隻(遊覧船) 16台(カーシェア等)	6編成14両 (鉄道)	99台 (タクシー)	105台(タクシー) 197台(レンタカー)	7編成21両 (鉄道)	

分ける化、見える化で地道な改善改良を積み重ねることが全ての出発点

- ◆ 地道な改善改良の徹底の先にDX的解決が自然に浮かび上がる
- ◆ ベストプラクティスの横展開やスケールメリットの追求で、単独では成し得ない改善効果を生み出す



JPiX始動！

◆地方創生に向けた投資・事業経営会社「日本共創プラットフォーム」を設立 (2020.12.24 プレスリリース)

1. オールジャパンの投資・事業経営会社
2. CX・DXによる生産性革命の実現
3. 株式会社形態の長期投資



■会社名 株式会社日本共創プラットフォーム Japan Platform of Industrial Transformation, Inc.(JPiX)

■住所 〒100-6608 東京都千代田区丸の内一丁目9番2号 グラントウキョウサウスタワー8階

■事業内容 長期的・持続的な企業価値・事業価値の向上を目的とした『エクイティ投資及び、傘下のグループ企業の事業経営』

■種類株主 [無議決権株主](五十音順)

株式会社伊予銀行、株式会社群馬銀行、KDDI株式会社、株式会社埼玉りそな銀行、株式会社商工組合中央金庫、三井住友信託銀行株式会社、株式会社山口フィナンシャルグループ、株式会社ゆうちょ銀行

■議決権所有株主 株式会社経営共創基盤

■URL: <https://www.japanpix.co.jp>

地域金融機関とのコラボレーションモデル: JPiXのコアビジネスモデルの一つ

- ◆ゴール: デットとエクイティーの境界を超えた総合的な金融仲介機能を地域経済において強化し、ローカル経済圏の生産性と成長力を高める
 - ー地域金融機関の強みと資産
 - ーJPiX及びIGPIグループと参画企業の保有する強み、資産
 - ーJPiX案件を媒介に両者を結合させる共働活動を長期継続することで、総合的な金融仲介機能を地域金融機関が核となって強化、確立

- ◆地域金融機関
 - ー既存の顧客ベース、地域における信用とネットワーク
 - ーIB機能、PB機能の強化(M&A、事業承継、資本政策、企業再生、財務戦略支援)
 - ー投資機能の強化(直接出資、GP出資)
 - ー経営人材仲介機能、経営コンサルティング機能の強化

- ◆JPiXと参画企業群
 - ーCX機能、DX機能、企業再生機能
 - ーIB機能、PB機能、地域・国境を超えたネットワーク
 - ーガバナンス投資能力、経営能力
 - ー経営人材プール機能